

リフォーム折半屋根・笠木・他屋根に係る鉄部の塗装工事



創業108年の信頼と実績 塗装・リフォーム 太田工業株式 ☎ 0120-552-448

甲府市・木造住宅の耐震化啓発活動について

甲府市では建物の倒壊から市民の生命財産を守る為、無料の耐震診断及び耐震化支援事業を行っています。年度毎に地域単位での啓発活動を行っており、今年度は玉諸地区が対象です。市職員及び建築士会が協力し、戸別訪問し、耐震化に関する補助等についての説明を行います。尚、市職員は身分証明書を携帯していますので不審と思われた際は身分証明書の提示を求めて下さい。

対象住宅：昭和56年5月31日以前に工事着手している木造住宅。
訪問期間：9月～11月の午前9:00～午後5:00の間。
留守宅にはポストに資料が投函されます。



祝 チャオチャオわいわいクラブは、第1回発行2006年9月1日、から14年経過しました。この間、玉諸地区の沢山の方々にご登場いただきました。皆様のご協力と温かいお声掛けに支えられながらの14年でした。15年目はコロナ禍でのスタートです。スタッフ一同、新しい生活様式を取り入れ頑張って取材、制作をして参ります。どうぞよろしくお願い致します。(チャオチャオわいわいクラブ編集部一同)

玉諸エコクラブ あさのり様(上阿原新田)、上阿原新田自治会様、里吉3丁目自治会様、匿名希望様、小野春代様(梅ノ木)、篠原好子様(梅ノ木) ご協力ありがとうございました。 ※ペットボトルキャップのみをお持ち下さい。

編集後記 今年の梅雨はいつになく長く、思わぬ被害にみまわれました。農業被害は深刻で、病気が多く発生、日照不足による品質の低下も避けられませんでした。また、梅雨前線の影響による大雨もあり、不安な時を過ごした方もいました。コロナ禍では、終息の気配が見えない日々が続いています。自治会の行事も軒並み中止となっています。まさにダブルパンチ。統計によると子年は、地震が少なく台風が多い年と言われます。また、激動の年とも言われコロナがこれに相当するのでしょうか。大きな地震が発生すれば、回数は少なくとも大きな被害となり、台風も同様です。とにかく、日頃の備えが大切ということですね。

ちよっと待て
これでもいいかと
一呼吸
能満寺

チャオチャオ! わいわいクラブ vol.169
 〒400-0824 甲府市蓬沢町1146
 ☎ 233-6588 fax 235-4809
 http://reform.ota-kogyo.com/
 発行人 太田丈三 編集人 落合洋子

長年社会貢献に努める小林興業 (里吉)



小林今朝男 会長

里吉に会社を構える小林興業、会長小林今朝男さんは長年にわたり社会貢献を続けられています。今年6月には医療備品購入をと甲府市に500万円寄付、同月社会福祉に役立て頂きたいと、山梨県に500万円の寄付を贈っています。これまで甲府市への寄付金の総額は3100万円に上っており、山梨県へも多額の寄付を行っています。小林会長の社会貢献はこの他にも里吉公民館建設時の土地提供と様々なところに及んでいます。

～小林会長にお話を伺いました～

(記者) まずは、長年に渡り、社会貢献を続けていらっしゃることに敬意を申し上げます。欧米と比べ日本では社会福祉に対して長期に渡り寄付支援を行っている方は少ないとききます。小林会長が長きに渡り社会貢献を続けていらっしゃる思いをお聞かせ下さい。

(小林) 私が最も大切にしているのは「人の輪」です。甲府で小林興業を立ち上げるまでには大変な苦労がありました。この時、私を信じて助けて下さったのが、地域の方々でした。その出会いが今日の私と会社をここまで育てて下さったと思っています。

社会貢献と言っても普通の事をしているだけです。子どもが小さい頃、大病を患い、その際お世話になった医療福祉関係者への感謝を常に胸に抱いています。この事から、自分の家庭や会社の節目節目に、社会貢献をしていこうと心に誓い、今日に至っているだけの事なのです。時には支援金であったり、また時には物品を贈ったりと形は様々ですが、全て、胸の中にある消える事のない感謝の気持ちから行っていることです。

地域の方々に助けられたことが私を育て、その後、私自身も人を信じ助ける事を続けるようになりました。社会には生活弱者が大勢います。社会復帰の支援がなければ立直ることが難しい人、生活の指導を毎日し

てあげなければ生計が成り立たない方がいます。孤立しやすい社会的弱者を見守ることが、ライフワークの一つになっています。また、社員や取引先様、親族との食事会を開催し、言葉を交わし互いの絆を深めることを大切にしています。コロナ禍ではありますが、この大切な食事会は、ソーシャルディスタンスを守り継続していきたいと考えています。顔を見て話す、共に食事をする事で「人の輪」が育って行くのだと思っています。

(記者) 心に刻んだ感謝の思いから始まった小林会長の社会貢献、多くの人に役立つ品々となり日々の生活を支えています。また、これまでの会長の功績を称え、紺綬褒章が数回授与されています。

来月90歳を迎えるとの事ですが、現役で仕事をこなし、菜園で野菜作りに励み、弱者に寄り添う活動を続けるアクティブな会長、60年以上前に胸に刻み込んだ感謝の思いを、社会貢献に代え、命ある限り行きたいと語る会長の強い信念に心打たれました。素晴らしいお話を伺うことが出来ました。本日はお忙しい中、取材にご協力頂きましてありがとうございました。



弊社は、1912年に太田塗装店として甲府市舞鶴城近くの桜町に誕生しました。昭和48年に現在の蓬沢町に移転し、以来この地にて建築仕上工事を行っています。「チャオチャオわいわいクラブ」は地域貢献として毎月1日、五味新聞店様のご協力により玉諸地区へ3000部、山梨日日新聞の折り込みでお届けしています。どうぞお楽しみください。

創業108年の信頼と実績 塗装・リフォーム 太田工業株式会社 ☎ 0120-552-448

南甲府交通安全協会玉諸支部通信・1

毎年、夏休み前に児童生徒と共に行っていました『早起きラジオ体操の会&親子交通安全教室』はコロナ禍のため、中止となりました。7月17日（金）南甲府署玉諸駐在所のご協力のもと、南甲府交通安全協会玉諸支部は玉諸小学校へ夏休み期間の交通安全についてのパンフレットを贈呈しました。若下清彦校長と児童会長佐久間小雪さんへ手渡されたパンフレットは児童に配布されました。



[写真左から]
若下清彦 校長
南甲府交通安全協会玉諸支部 内藤秀高 事務局長
南甲府署玉諸駐在所 渡辺直哉 所長
児童会長 佐久間小雪さん
南甲府交通安全協会玉諸支部 永田友美 支部長
玉諸地区子どもクラブ指導者連合協議会 天野一 会長

南甲府交通安全協会玉諸支部通信・2

カーブミラーの点検、掃除、危険個所の確認を地区ごとに随時行っています。住宅が増えるとともに、カーブミラーの必要箇所が増えてきています。ミラーの汚れ、飛び石などが原因で割れてしまったもの、劣化により写らなくなっているカーブミラーは事故につながります。安協では年1回の点検と清掃を行い、同時に危険個所の確認とミラーの増設の要望書の提出を行っています。その他、路上の白線劣化についても要望しています。



安協の皆さま
住民の安全を守るために活動下さり
ありがとうございます。



草むらから・・・こんな話を聞きました。「草むらから出てきた動物、どうもアライグマだったようです。」アライグマは害獣です。他にもタヌキやイノシシなどが潜んでいる事があります。庭の草もちょうっかりしていると、大きく伸びてしまいます。遊休農地や駐車場など、背の高い草がうっそうとしている場所はこうした害獣の格好の住処になります。

玉諸地区でよく見かけられる動物たち、可愛い顔をしています、強暴で狂犬病ウイルスなどを持っていますので近寄らないようにしましょう。



タヌキは法律上では野生鳥獣に該当しており、タヌキを勝手に捕獲することは鳥獣保護管理法に違反してしまいます。

太田工業株式会社・第72期経営計画発表会

弊社の経営計画発表会が勤労青年センターで開催されました。コロナ禍である為、広い研修室をお借りして行いました。新型コロナウイルス感染拡大時代の会社の在り方、コロナウイルスとの共存について会社全体で安全と健康について確認しました。また、優良従業員として4名が選ばれました。今期も、お客様と地域の皆様のお役に立つ企業として汗をかいて参ります。



予測できない最近の集中豪雨にご注意！

取材レポート：天野 一

山梨県は7月25日、梅雨前線の影響で激しい雨が降り、24日の降り始めからの降水量は、甲府で137ミリを記録しました。雨の影響でJR身延線の一部区間が一時運転を見合わせたほか、道路は国道411号など最大15路線23箇所が通行止めとなりました。

甲府地方気象台によると、25日の甲府市の降水量は128ミリ（24時間）1時間当たりの最大降水量は午前1時24分に36.5ミリを記録し、その影響で濁川の水位が急激に上昇し、東高校の近くにある濁川水位観測所の数値は、24日24時の時点で0.24mだった水位が1時間後の25日午前1時には1.23m増え1.47mに、更に1時間後の午前2時には、「避難判断水位」の2.5mを超えました。更に水位は増え続け、午前4時には「氾濫危険水位」の3mを上回る3.17mを記録した。その後は徐々に水位は下がりましたが、夜間の豪雨に対する備えの必要性、又、難しさを感じた豪雨でした。

濁川が氾濫危険水位（3m）を一時上回った影響で、里吉公民館東側の住宅地では用水路から水があふれ、道路がひざ下あたりまで冠水し、地元をはじめ南ブロックの消防団員や委託業者らがポンプを使って水を吸い上げ、濁川へ流す作業を行ったため、住宅への影響は免れました。甲府市は、避難所開設の準備をしましたが、午前7時半ごろには、濁川の水位が2.8mまで下がったため、避難所の開設は行われませんでした。



ポンプで吸い上げた水を濁川に放水



濁川西側より里吉公民館側を撮影



用水路からあふれた水が道路に冠水



里吉公民館東側水路冠水の様子（国玉）



里吉公民館東側住宅地の様子（国玉）



里吉公民館東側水路冠水の様子（国玉）

濁川右岸排水機場 1号機のエンジンを交換

玉諸地区には、濁川沿いの蓬沢町内に「右岸排水機場」が、西高橋町内に「左岸排水機場」があります。

台風や集中豪雨で濁川の水位が高くなり、濁川に流れ込む河川の水けが悪くなった時に、大型の排水ポンプが作動し町内の家屋や農地などが水に浸かってしまう（内水被害）を防ぐ役割をしてくれています。

この度の点検で、右岸排水機場の排水ポンプ1号機のエンジン部分に不具合が見つかり、早急にエンジンの交換が必要となったことから、甲府市議会6月定例会に補正予算が提案され可決されました。

排水ポンプのエンジン交換費用は概ね1億6000万円。1号機のエンジン交換の他に、減速機1台、逆流防止弁2台の交換も併せて行われ、交換期間中の洪水対策として仮設水中ポンプも用意されます。工期は来年5月下旬迄。今後につきましては、市の整備経過に基づき、機械の更新をしていくとのことです。



排水機場エンジン



濁川右岸排水機場（蓬沢）